



2020年1月31日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第177号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 読者の皆様へ
- 国際地震工学研修第25回グローバル地震観測コース開講
- 米国地球物理学連合2019年秋季大会に出席 -サンフランシスコ-
- 「研究開発課題リスト」について
- 「筑波山地域ジオパーク」について

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

読者の皆様へ

国際地震工学センター長 横井俊明



横井センター長(右)と
グローバルコースの研修生

新年を迎え、皆様とご家族、ご同僚の方々には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この研修プログラムは当初東京大学で開かれておりましたが1962年以降こちらIISEE(国際地震工学センター)で開催されており、今年60周年を迎えます。

昨年末の時点で102か国から計1989名の研修生がこのプログラムに参加しており、今年1月14日に始まったグローバ

ルコースから17名が追加されました。この研修生の中には新しく4か国(コモロ、モーリシャス、ソマリア、サントメ・プリンシペ)からの参加者が含まれます。私達は、彼らの参加を光栄に思い、心より歓迎いたします。

ご存知の通り、現在、IISEEは3つのコースを実施しております。1年コースは地震学コース(S)、津波コース(T)、地震工学コース(E)の3コースから成ります。その他にスペイン語で行われるラテンコース(LA)と、グローバルコース(G)の短期コースがあります。2020-2021年度のS、E、Tコースにつきましてはすでに決定した対象国からの研修生選考を行っております。2020年LAコースにつきましては対象国が決定し、間もなく研修生募集を開始いたします。募集対象国をお知りになりたい場合は私達までご連絡をお願いいたします。

東アジアでは暦上で“60”という数字は大きな意味を持ち、人生においても1つの区切りであり、大成後は次の“60”への新たなスタートをきります。今こそ古木からの芽吹きの時です。

IISEEはこれからも社会的、国際的ニーズに合わせた最新の知識と技術を取り入れながら研修カリキュラムとその効率を随時向上させてまいります。IISEEは今後、発展途上国との合同プロジェクトで養われた専門的人材から得た情報を、国内だけではなく世界中の建築、建築工学その他の関連分野の方々へも効果的に提供する拠点となることを目指します。これと同時にIISEEは、国内外の施設や技術者からの協力を得ながらこの拠点の機能強化をすることにより、地震と津波

地震データベース

2011年3月11日東北地方
太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

の災害軽減を目指した活動を推し進めてまいります。

引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

ご質問、お問い合わせがございましたらこちらまでお願いいたします。

iisee@kenken.go.jp

国際地震工学研修第 25 回グローバル地震観測コース開講

国際地震工学センター 管理室長 山田高広

グローバル地震観測コースが1月14日から始まりました。

今年は、14ヶ国(アルジェリア、ブータン、コモロ、キューバ、エジプト、インド、イラン、モーリシャス、ネパール、パキスタン、サントメ・プリンシペ、ソマリア、スリランカ、ジンバブエ)から、17名の研修生が参加しています。

建築研究所で開催された開講式では、歓迎の挨拶が行われたあと、研修生を代表してキューバから参加したラウル・パラオ・クレール氏から挨拶がありました。

このコースは、核実験探知識別が可能な人材を育成することを目的として、CTBTO、外務省、JICA、気象庁、その他関係機関の協力により、1995(平成7)年度から実施されています。これまでの研修修了者は、75ヶ国から254名になりました。

研修生は、グローバル地震観測に関する知識や高度な地震解析技術を習得するため、積極的に取り組んでいます。

3月6日までの短い研修期間ですが、研修だけでなく、日本滞在中も楽しんで、良い思い出をもって帰国することを期待します。



外務省 軍縮不拡散・科学部
大野 祥 軍備管理軍縮課長



建築研究所理事長 緑川光正



国際協力機構 筑波センター
飯田 次郎 研修業務課長



キューバの
ラウル・パラオ・クレール氏



開講式



グローバルコースの研修生

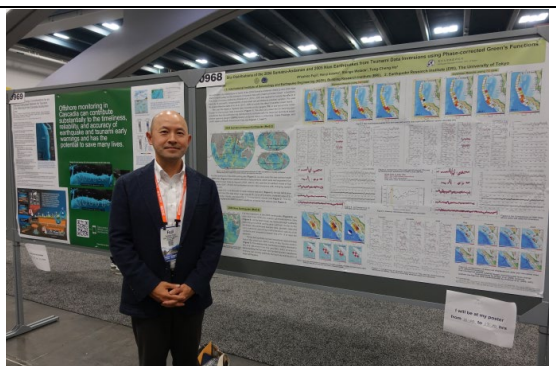


楽しむのは今です。

米国地球物理学連合 2019 年秋季大会に出席

—サンフランシスコ—

国際地震工学センター 主任研究員 藤井雄士郎



出張者のポスター発表

令和元年12月9日から12月13日まで、サンフランシスコで開催された米国地球物理学連合(AGU)の2019年秋季大会に出席しました。国際地震工学センターからは藤井主任研究員、北主任研究員、現在米国出向中の林田主任研究員が参加しました。



藤井は、主に Interdisciplinary Tsunami Science (和訳:学際的な津波科学)のセッションに参加し、下記のタイトルでポスター発表を行いました。

Slip Distributions of the 2004 Sumatra-Andaman and 2005 Nias Earthquakes from Tsunami Data Inversions using Phase-corrected Green's Functions

(和訳:位相補正したグリーン関数を用いた津波データインバージョンによる

2004年スマトラ-アンダマン地震と2005年ニラス地震のすべり分布)



会場のモスコーニセンター(ウエスト)

「研究開発課題リスト」について

国際地震工学センターが関係するこれまでの研究開発課題は次の場所で掲載されています。

読んでみてご興味ありましたら、国際地震工学センター (E-mail: iisee@kenken.go.jp) まで問い合わせ願います。

国際地震工学センター研究開発課題リスト

<https://www.kenken.go.jp/japanese/research/iisee/list/index.html>

「筑波山地域ジオパーク」について

ジオパークは、科学的に貴重な、あるいは景観として美しい地形・地質などの「大地の遺産」を保護するとともに、教育、ツーリズムなどの推進に活用し、地域の持続可能な発展に寄与することを目的としています。なお、「ジオ」は「地球・大地」という意味があり、ジオパークは「大地の公園」ともいわれています。

2019年4月現在、日本には44地域のジオパークが認定されており、そのうちの9地域が世界ジオパークとして認定されています。

その一つに「筑波山地域ジオパーク Mt. Tsukuba Area

Geopark」があり、つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市の6市からなる筑波山地域ジオパーク推進協議会により、住む人にも訪れる人にも、「みんなに愛される地域づくり」を目指してジオパークの活動を進められています。

「筑波山地域ジオパーク Mt. Tsukuba Area Geopark」に関する情報は、インターネット、Facebook、Twitter で情報を発信されています。

建築研究所訪問やつくば市内滞在の際は、「筑波山地域ジオパーク情報」を事前



連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧下さい。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

にチェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

筑波山地域ジオパーク(公式ホームページ)

<https://tsukuba-geopark.jp/>

パンフレット(日本語、英語、中国語)

<https://tsukuba-geopark.jp/page/page000012.html>

筑波山地域ジオパーク(Facebook、日本語)

<https://ja-jp.facebook.com/Tsukubageopark/>

筑波山地域ジオパーク(Twitter、日本語)

https://twitter.com/mt298area_geo

筑波山地域ジオパーク PR 動画 ジオドライブ 100km の旅

<https://www.youtube.com/watch?v=OeijK7d3Dpo>

日本ジオパークネットワーク

<https://geopark.jp/>